《板書例》

■蘇秦の説得の巧みさはどこにあるか、話し合ってみよう。
（言語活動）

▼話し合うポイント▲

①共感を得るための説得に、六国の諸侯たちが持つ**気持ち**を利用したところに巧みさがある。
―「秦人恐喝二諸侯一、求レ割レ地。」より、話し合う。

②共感を得るための説得に、六国の諸侯たちが持つ**当時の気風・風潮**を利用しところに巧みさがある。
―「寧為二鶏口一、無レ為二牛後一」より、話し合う。

▼蘇秦の説得のポイントの再確認▲

①六国の諸侯たちが共感した言葉
・「幷レ力西向、秦必破矣。」
―秦に対抗しよう。
・「寧為二鶏口一、無レ為二牛後一。」
―小国の君主となってもよいが、大国の臣下になるな。
（自尊心・独立心・名誉心）

②蘇秦の巧みな説得の結果？
「於レ是六国従合。」

▼話し合いの結果▲（＊板書）
A班……
B班……
C班……

▼各班の話し合いの結果に対する疑問▲（＊疑問点のみ簡単に板書。後、口頭で説明。）
A班の、……という意見は、何を根拠にしていますか。
B班の、……は、当時の風潮を表現する言葉ではありません。
C班……

▼各班、検討の上、返答▲（＊口頭で発表）
A班、……という意見は、……を根拠にして考え、話し合いました。
B班、……という言葉は、当時の風潮を表していると考えました。インターネットや資料集で確認しまし、それを根拠としました。
C班……

▼まとめ・再検討の結果を発表▲（＊口頭）
A班……
B班……
C班……

《板書例》

▼句形▲

寧為二鶏口一、無レ為二牛後一。

・「寧（ロトモ）～　無（カレ）レ…」（選択形）

・「むしロ～トモ…なカレ」と読み、「どちらかといえば～しても…するな」の意。

二つのことを比較して、その一つを選ぶ。